

白山の火山活動解説資料（平成 24 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

白山北側の浅部を震源とする地震が、10月27日21頃から28日02時頃にかけて多発しました(117回)。最大のマグニチュード(M)は27日21時34分のM2.5(暫定値¹⁾)で、震度1以上を観測する地震の発生はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。その後、地震活動は静穏に経過し、噴気活動など火山活動に直接結び付くような異常は認められていません。

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況(図2)

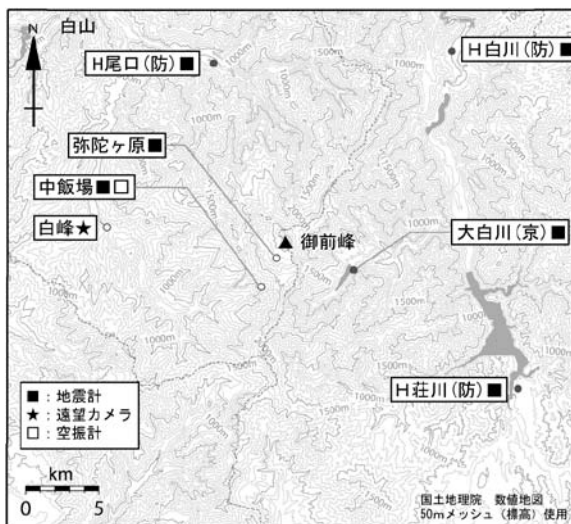
白峰(白山山頂の西12km)に設置してある遠望カメラによる観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況(図3、図4*)

白山北側の浅部を震源とする地震が、10月27日21頃から28日02時頃にかけて多発しました(117回)。最大のマグニチュード(M)は27日21時34分のM2.5(暫定値)で、震度1以上を観測する地震の発生はありませんでした。火山性微動は観測されませんでした。その後、地震活動は静穏に経過し、噴気活動など火山活動に直接結び付くような異常は認められていません。

白山では、これまでも時々浅部を震源とする地震が一時的に多発することがあり、火山活動監視のため地震観測を開始した2005年12月1日以降では、2008年9月6日から7日にかけて、2009年1月10日及び1月25日にも今回と同規模の地震活動(地震回数:50~80回/日程度)がありました。また、2005年10月3日には、石川県白山市白峰で震度2を観測する地震(M4.5)が発生し、その後地震活動が一時的に活発化したことがあります。

1) マグニチュードの値は暫定値で、後日変更することがあります。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国): 国土地理院、(防): 防災科学技術研究所、(京): 京都大学防災研究所

図1 白山 観測点配置

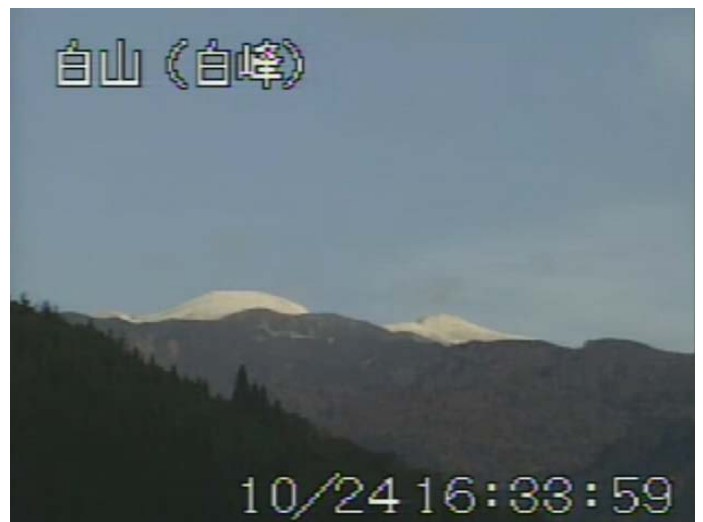


図2 白山 山頂部の状況
(10月24日 白峰遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成24年11月分)は平成24年12月10日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平23情使、第467号)。

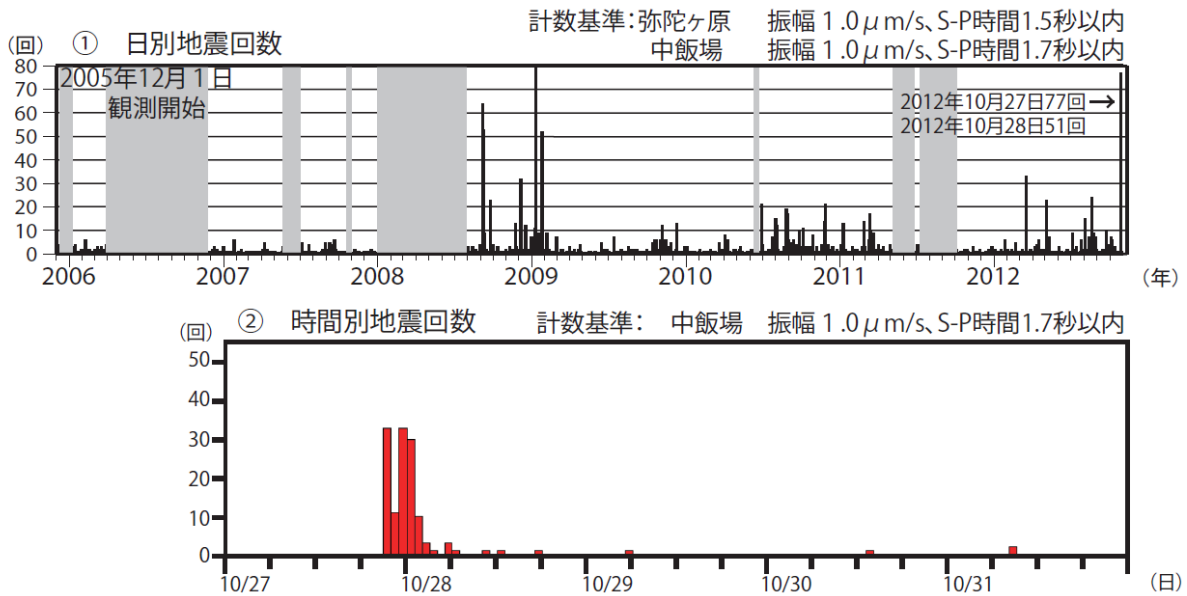
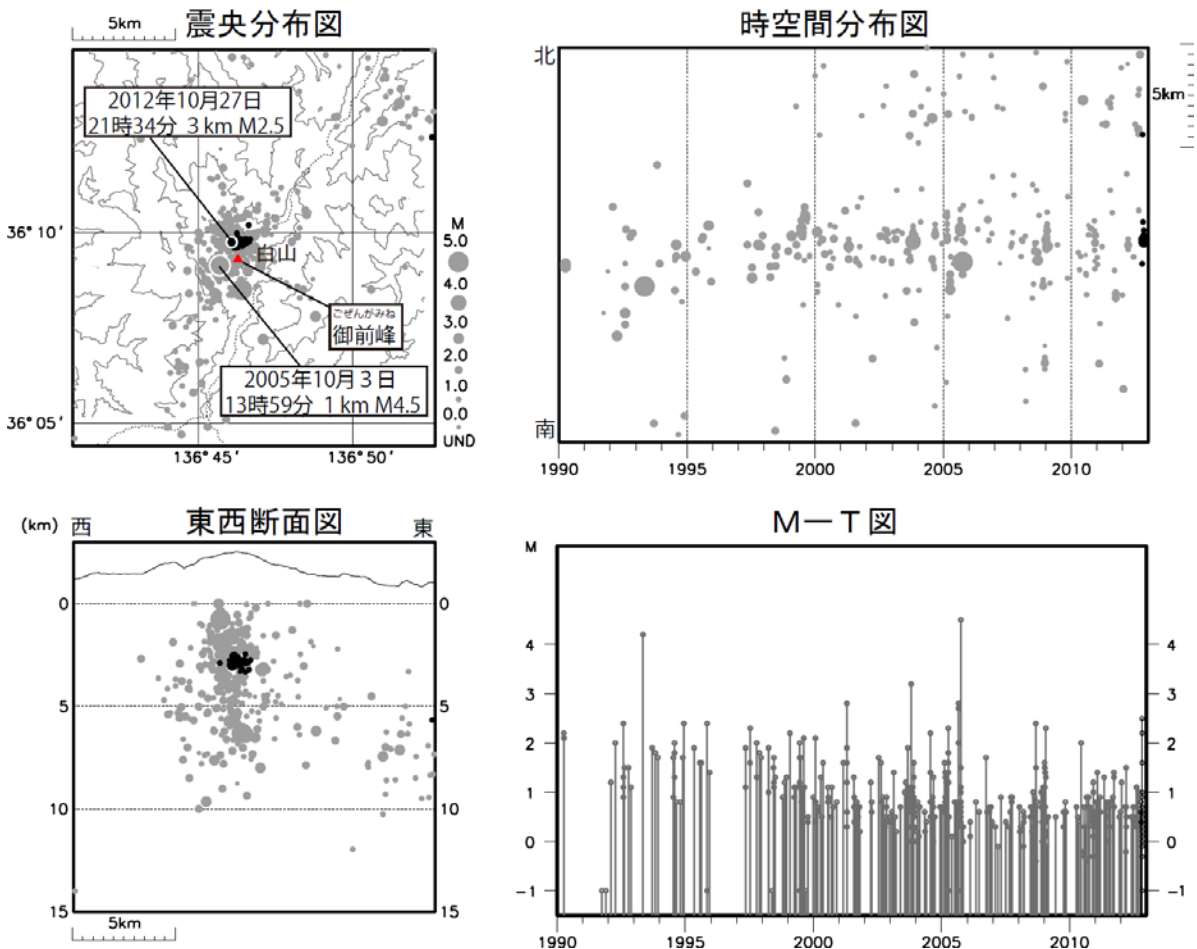


図3 白山 ①日別地震回数（2005年12月～2012年10月）
 ②時間別地震回数（2012年10月27日～10月31日）

- ・2011年9月30日までは弥陀ヶ原観測点による観測
- ・2011年10月1日からは、中飯場観測点による観測
- ・図の灰色部分は機器障害による欠測期間



● : 1990年1月1日～2012年9月30日 ● : 2012年10月1日～10月31日

図4※白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（1990年1月～2012年10月）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。